



# れん



単位PTA こんなことやってます!!.....P2・3

REN100号記念対談 富山市PTA連絡協議会 会長 **河上 仁栄** × 元文部科学大臣 **下村 博文**

子供たちのために、地域の大人が出来る事 ~地域の大人がかわろう~ ...P4・5

事業紹介/29年度表彰者/会長研修会 .....P6・7

特集 子供の変化に気付いてあげよう/告知/報告/広報委員会紹介.....P8



# やっ てま す !!



## こども防犯教室開催

富山市立大久保小学校

県内で子供たちが不審者による事件や事故に巻き込まれることが多発しています。

大久保小学校PTAでも児童の皆さんが安心して暮らすために、保護者の方と全学年の児童を対象に七月十日(水)富山県防犯協会から講師の方を招いて、「こども防犯教室」を開催しました。

こども防犯教室では、不審者にあつた場合助けを呼ぶために、どれだけ大声で助けを求められるか騒音計を使い実際に大声で叫び、どれだけ大きい声で助けを呼べるか実験を行いました。

また、不審者に襲われないようにするための逃げ方や抱きつかれた時の対処方法なども教えてもらい、児童たちは、とても真剣に聞いて不審者から身を守る方法を学びました。

この「こども防犯教室」で学んだことをきっかけに、児童の皆さん・保護者の皆さんにもっと防犯意識を高めてもらいたいと思います。



## スマホと子供で親学び

富山市立新保小学校



二月九日(土)に家庭教育学級で富山県親学び推進スパーリィグーの方に進行をお願いし、「スマホと子供」をテーマにした親学びを開催しました。昨年度よりも、参加して下さる方が二十人程増え八十三名もの保護者の方が参加して下さりました。

スマホ使用時のルールや、どうしたら子供はルールを守ることができるのかをグループワークしました。話し合う中で同じ悩み、意見を持つ方への共感、新たな気付きなどもあり、家庭でのルール作りに参考になる親学びでした。アンケートでも雑談を交えて話しやすい。他の方の意見が参考になった。来年度も開催して欲しいと言う意見も多数あり今後も続けていきたい活動です。



## メディアアコントロール

富山市立堀川小学校



近年、スマホやゲームなどの情報メディアが子供たちの生活に及ぼす影響は看過できないものとなっており、対策が急務となっております。



堀川小学校では、堀川中学校区全体の取り組みとして、自分で情報メディア利用をコントロールし望ましい生活習慣を身につけることを目標として今年度より「メディアアコントロール」を実施しております。堀川小学校有成会では、これを地域社会全体で取り組む問題と捉え、十二月七日(金)に地域教育推進協議会で地域のリーダーの方々向けにセミナーを開催させていただきました。また、

二月十六日(土)には、家庭教養講座で、富山大学人間発達科学部准教授藤本孝子先生をお迎えし「インターネット依存について」と題してご講演をいただきました。

情報メディアに対する正しい知識を身につけるため、次年度以降も取り組みを続けたいと考えております。





## バザー

富山市立水橋東部小学校

十一月二十三日（祝）水橋東部小学校では第五十八回縄跳び発表会&啓明育英会主催のバザーが行われました。この日のため、六月に世界トップクラスの縄跳びパフォーマンスである粕尾将さんを講師にお招きし、縄跳び教室を開きました。子供たちに簡単な技から少し難しい技までどのように練習すれば跳べるようになるのか縄の長さや持ち方から二重跳びの方法などを楽しく教えていただきました。

そして、PTAではバザーに向けて執行部と各委員会が中心となって準備してきました。ゲーム・喫茶・即売品・提供品・うどん、それぞれのコーナーを各委員会で担当します。その中でもうどんコーナーはPTAのお父さんたちの担当です。そして今年の即売品コーナーでは有名コッペパン屋さんのコッペパンを販売することもあり、一生懸命準備してきました。

当日は体育館で行われた子供たちの発表会が終了し、「口今よりバザーを開始します」の合図と共にバザーが始まりました。真つ先にうどんコーナーに向かう人、即売品コーナーに向かう人、当日券売り場に並ぶ人と様々です。エプロンをつけたお母さんたちはそれぞれそれぞれの持ち場でお客様の対応に一生懸命。毎年うどんコーナーには長蛇の列で、売り切れる時もあるほど大人気です。毎年、バザーには多くの地域の方、保護者の方々が来られ、皆さん笑顔で帰られます。水橋東部は小さな学校ですが、これからもこのバザーのような地域に愛される行事ができたらいなと思えます。



## ドッジビー大会

富山市立南部中学校

学校選択制を導入した際に、校区内の小学生に「南部中学校を知ってもらいたい」という思いから、毎年南部中学校区内の光陽小学校、西田地方小学校、中央小学校の六年生を対象に、「六年生交流会」と称して、ドッジビー大会を行っております。現在では学校選択制のためではなく、中学校及び中学生を身近に感じていただき、中学校に対する期待値を高めて欲しいという想いで、この事業を継続しております。また、南部中学校区内の小学校PTAとの連携を深める機会として、大きな役割も果たしております。小学生約八十名、中学生約八十名、合計百六十名の児童生徒で和気あいあいと交流しております。ドッジビーを行う前には、各小学校それぞれの特徴を発表してもらうPR合戦や、南中吹奏楽部の演奏会なども行って、中学生にも小学生にも思い出に残るイベントとして毎年開催しております。この事業を長く継続できるのは、各学校の先生方のご理解とご協力のおかげです。これから南部ブロックは中学校、小学校それぞれの先生方と保護者が一丸となって子供たちの育成を行ってまいります。



## 夢発見「十三歳の自分探し」

富山市立新庄中学校



二月十四日（木）キャリア教育の一環として今年第三回目となる「夢発見「十三歳の自分探し」」が行われました。様々な職種から三十名の講師をお招きし、十コースに分けて二人三講座を受講しました。一年生二百四十名は、興味のあるコースを選択し、受講する職業等について事前に調べたりまとめたりして、当日の準備をしていきました。

スライドを用いた講座のほか、実際に職業体験のできる講座もあり、生徒たちは真剣に目を輝かせながら受講しており、その姿がとても印象的でした。

また次年度「社会に学ぶ「十四歳の挑戦」」で体験職業を選択する生徒にとつて、今回の講座が役立つ貴重な経験になったと思えます。



# 子供たちのために、地域の大人が出来る事

## ～地域の大人がかかわろう～

**河上会長**：是非これからの子供が夢や希望を描ける未来のため、様々なお話を聞かせて頂ければと思います。今年度は地域のために大人が出来る事というテーマをあげております。今は核家族化が進み、共働きの時代です。このような時代は子供たちを地域で見守ることが必要であると考えております。

学校とPTAの繋がりがあっても市全体として、PTAとしての様々な活動をするのかというのはいまありません。日本は女性の就業率も高くなりました。この新しい環境の中でどのように進めていくのかを考えていかなければならない。これからは地域の学校は地域皆で応援をしていくということです。学校のことは学校の先生が行えばいいというのではなく地域みんなで支え合います。皆で子供たちの教育を支えるという意欲をもつことが必要です。

**河上会長**：私の地域では地域と子供を結びつける事業やコミュニティスクールを行っております。例えば地域の祖父母が自身の得意としている分野を教え、子供たちが新たに気づきや学びを得ることに繋げるという内容の事業を行っています。

**下村先生**：コミュニティスクールとは地域の人が関わるだけではなく、学校運営にも協力しているという流れです。全てを含めコミュニティスクールといっています。

これからのPTAでは子供たちが夢や希望を与えられる未来を、子供たちの未来のため私たち大人が環境を整え、地域で支える社会にしていかなければならないと感じております。子供たちの未来について先生のお考えをお聞かせ頂ければと思います。

**河上会長**：私の地域では地域と子供を結びつける事業やコミュニティスクールを行っております。例えば地域の祖父母が自身の得意としている分野を教え、子供たちが新たに気づきや学びを得ることに繋げるという内容の事業を行っています。

**下村先生**：コミュニティスクールとは地域の人が関わるだけではなく、学校運営にも協力しているという流れです。全てを含めコミュニティスクールといっています。

これからのPTAでは子供たちが夢や希望を与えられる未来を、子供たちの未来のため私たち大人が環境を整え、地域で支える社会にしていかなければならないと感じております。子供たちの未来について先生のお考えをお聞かせ頂ければと思います。

**河上会長**：私の地域では地域と子供を結びつける事業やコミュニティスクールを行っております。例えば地域の祖父母が自身の得意としている分野を教え、子供たちが新たに気づきや学びを得ることに繋げるという内容の事業を行っています。

**下村先生**：コミュニティスクールとは地域の人が関わるだけではなく、学校運営にも協力しているという流れです。全てを含めコミュニティスクールといっています。

### ※ コミュニティスクールで地域の大人が学校運営に参加。

**河上会長**：学校側がやりにくくならしてしまわないでしょうか。  
**下村先生**：そのような面もありません。しかし現状は地域の人も協力してもらえないと学校の先生だけではやりきれなくなってきました。

**下村先生**：文部科学大臣だった時、地方に赴き様々な関係者とお話をさせて頂きました。富山市PTA連絡協議会で子供たちの未来について考える取り組みをしているのは初めて知りました。それぞれの

富山市PTA連絡協議会 会長

# 河上 仁栄

Kawakami Hitoe



河上 仁栄 (かわかみ ひとえ)。  
昭和40年9月27日生。富山市出身。(株)河上事務機代表取締役専務。平成20年からPTA活動に携わり、堀川小学校有会会長、富山市PTA連絡協議会副会長を歴任、平成29年より富山市PTA連絡協議会会長を務める。

ます。先生が大切にしているのは子供たちと接点を持ちながら教えること。そのようなことがスムーズにいくために、地域の大人がどのように応援してあげられるか、それこそ地域皆で子供たちを育てることに繋がると考えられております。

**河上会長**：コミュニティスクールの始まりは、地域からの要望ですが、それとも先生から要望があったのでしょうか。

**下村先生**：両方です。元々は地域運営学校としてスタートしました。親同士や学校などでのトラブルはなかなか先生だけでは解決するには難しい、それらをみんなで学校を支えていこうというのが始まりです。これからはこのようなことが基本となると考えます。

学校は学校の先生のみで運営するには限界がきており、これからは地域の人が子供たちを元教員やPTAなどの協力を得て授業をサポートする。その様なことも学校の先生側からみてもプラスの事だと考えます。

**河上会長**：欧米では今多いでしょうか。

**下村先生**：そのような流れになってきています。不登校にも触れませんが現在14万人おり、学校へ行っていないというのは自身の未来の可能性を多少なくしてしまっている。画一教育の時代から、ひとりひとりの子供に寄り添ってどのような教育のサポートをするべきか考える時代になってきました。

地域の大人が学校の先生をサポートしていき、子供の勉強環境



はベストな環境を作ってあげるべきです。地域の専門の人を呼んで授業を行い、地域開放をするのも一つだと思います。その方が子供たちの成果や可能性が生まれるのではないかと考えます。

**教育の形が変わってきている。親の考えも変わってきていかなければいけない。**

**河上会長**：単純に答えを見つければいいのではなく、自分で考え自分ごなす、様々な考え方を導き出すようにしていかなければいけないですね。これでは指示待ちになって考え方が固まってしまう。

**下村先生**：指示待ちになってはいけません。世の中が変わり、これからの日本は、人間はAIができないような能力を育んでいかないとはいけません。そのためには自ら考え



# 下村博文

行動するクリエイティブな考えが必要であると考えます。授業の中で子供たちが議論をして皆の前で主張できる、正解は一つではなく色々な考えや答えがある。色々な考えがあることでお互いが認め合い深くしていくことをしないとけない。

子供だけではなく親も考えを変えていかなければならないと感じております。

**PTA活動は我々が普段の生活では得られない、気づきや学びの場。**

河上会長：多くの人と接すると教



下村 博文（しもむらはくぶん）。昭和29年5月23日生。群馬県出身。自由民主党所属衆議院議員：東京11区、当選8回。早稲田大学教育学部卒業。自由民主党憲法改正推進本部長、元文部科学大臣。教育再生担当。東京オリンピック・パラリンピック担当。

育というのは子供たちにとって非常に大切なものだと気づきました。我々も常に学び人間的に成長をしていかなければなりません。

下村先生：それはすごく大切な言葉であると思います。これからの時代自分の能力を高めるといっても、PTAにも多様な意見を持つ人が集まり、人間関係を大切にすることが求められます。社会の中で幸せに生きていくための教育の場で人間性を高めることが出来るなら、個々にとってPTA活動は新たな付加価値が加えられてきます。

河上会長：PTAは活動してみても多くの気づきや学びの機会になりました。その様に活動して能力を高めている我々の姿を子供もみて、両親みたくになりたい、と思われるようなPTAをめざしたいと考えております。

です。これからはペーパーテストで測れない三つの能力が必要だと感じています。

一つは「無から有を生む能力」、二つ目は「様々な意見の集約をするマネージメントスキル能力」、三つ目は「思いやりなど人の気持ちがかかるホスピタリティ能力」。3つの能力を高くすることは学校だけでは難しく、PTAも普段の生活では高められないその能力を高めることができると思っています。もし実現出来たら素晴らしいPTAになるのではないのでしょうか。

※2 AIが人間に代わる時代。AIでは代われない読解力を養うことが教育の現場で求められてくる。

の授業ではなく、一方の能力の子供にブレーキをかけてしまっていた一面はあったと思います。その世代が親となり、子供の変化を受け入れられないと感じているかもしれません。

下村先生：どこまで突き詰めて行こうかということです。数学が好きなら数学を徹底的にする。しかし、数学的には読解力が無いとできない。読解力を養うには国語をやるなど視野を広めてその教科に関心をもっていくやり方が大切です。国立情報学研究所では東京大学に入るためのAIロボットを研究しています。結果ロボットでは東京大学に入学できないことが分かりましたが、7割の大学はロボットでも入れることが分かりました。理由は読解力が不足していることです。今多くの子供たちが文章を読み取ることができないといわれており、読解力がないから、正確に問題の意味が理解できないといわれています。

是非子供たちには読解力を養ってほしい。子供たちに本を読んでもらいAIではできない思いやりや慮るホスピタリティを育んでもらいたい。

河上会長：7割は入れるとなると、このままではAIに取って代わるようになってしまつのでしょうか。

下村先生：取って代わる可能性があまりです。読解力を養うことにより、比率を変えることができます。これからのことを教師が学び最先端のことを続け、それを周りの地域の大人がサポートしないといけ



ない。PTA活動が親にとってプラスになるように、そんなイメージを持って活動してもらえれば素晴らしいことですね。

河上会長：PTAに関心を持ってもらえるよう今後も活動していきたいです。

下村先生：PTA活動は仕事や対人関係になど自分にとってプラスになり学びを他の親からも多くの事を得る絶好の機会です。

河上会長：実際様々な良い経験をする事ができたと言われています。それをさらに広められるよう活動を継続していきたいと思っております。本日は貴重なお時間を頂戴しありがとうございます。

※1 コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教法第47条の6）に基づいた仕組み。

※2 AI (Artificial Intelligence) とは、一般に人工知能と訳される。人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術のこと、または人間の知的営みを行うことができるコンピュータプログラムのこと。

## 親学び推進リーダー研修会

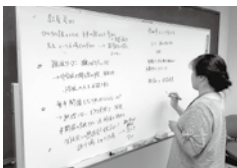
家庭教育推進委員長 室 敬人



「あなたは目玉焼きに何をかけて食べますか？」これはお互いの多様性を認め合い、親近感を深める質問です。初対面でも笑顔を見た相手には話をしやすくなりますよ。これはグループトークを活発にするためのテクニックです。講師のノウハウに目からウロコが落ちます。

七月二十九日(日)、「親を学び伝える学習プログラム」を推進する「親学び推進リーダー研修会」を婦中ふれあい館にて開催しました。

二名の講師からは、親学びの必要性から、進行役のノウハウまで、資料を交えてたっぷり講義いただきました。ひと息ついて、スーパーリーダーと推進リーダーのグループトークです。ここでも新たな気づきに出会います。「親学びを開催するのはいつがよいか?」授業参観や新入生説明会、入学時検診、役員選考の時に、などなど。数々の実施例にメモを取る手が止まりません。推進リーダーが親学びを開催される自信につながったと思います。



私たちは親に育てられて今、遠い記憶をたどりながら自問自答しての子育てではないでしょうか。「親学びプログラム」で、様々な親の考え方に触れてみてください。

## 富山市議会との懇談会

総務企画委員長 高野智弘



九月二十八日(金)、残暑の厳しい中に富山市議会と富山市PTA連絡協議会役員との懇談会を行いました。



これまでは市議会の総務文教委員会を中心に参加を依頼していましたが、今年度は学校を取り巻く環境や地域の安全に関わる出来事が多発していたため、総務企画委員会でも話し合った結果、すべての富山市議会議員に参加をお願いしようということになりました。

富山市議会から二十七名もの参加をいただいで、教育関係の話だけでなく、地域における学校の重要性などについて意見交換することができました。

子供たちの教育の場としての学校は今後どうなっていくのか、安全な通学路を確保するためにPTAと地域が連携していく必要性、地域の公的施設の拠点としての学校に求められることなど、PTAは学校のことだけでなく、地域の活動に協力していくことが重要だということを知りました。子供たちのために何ができるのか考えて、PTAと地域の皆さんが協力していくことが大切だと感じた懇談会となりました。



## 富山市教育委員会との懇談会

総務企画委員長 高野智弘



十月十七日(水)、富山市教育委員会と富山市PTA連絡協議会役員との懇談会を行いました。

富山市教育委員会から分科会形式で教育に関わるテーマについて説明をいただき、各分科会で様々なテーマについて意見交換することができました。

全国学力・学習状況調査の結果から、富山市の子供たちが全国平均を上回る成績を収めている結果が報告されました。

その一方で教員多忙化による問題が発生している現状も報告されました。富山市教育委員会との懇談会では、聞きたいことは何でも聞けます。そして多くの回答を得ることができる場でもあります。

今年度は、置き勉の許可や、普通教室へのエアコン導入に向けての取り組みなどの話もしていただきました。子供たちの教育環境が変わっていくのを感じられる素晴らしい懇談会で、たくさんの方のPTA会員のみなさんに知っていただきたい事業だといえます。





## 平成29年度 市P連功労賞(表彰状)名簿

所属 PTA	氏 名	所属 PTA	氏 名	所属 PTA	氏 名
西田地方小	堀澤 祐一 様	芝園中	青山 益広 様	岩瀬中	猶明 義仁 様
中央小	瀧脇 克之 様	芝園中	黒田 康二 様	奥田中	犬山智 芳子 様
新庄北小	鷲塚 博史 様	芝園中	安川久美子 様	呉羽中	城石 輝彦 様
岩瀬小	種 由紀子 様	南部中	浅井 昌代 様	藤ノ木中	北川 哲也 様
大広田小	中川 裕介 様	南部中	中村由香里 様	上滝中	高木 政治 様
蜷川小	覚地 朋皇 様	南部中	米本 智美 様	速星中	中林 公男 様
熊野小	宮村 勇太 様	北部中	山田 博喜 様	速星中	松下雄之輔 様
呉羽小	蓼内 茂明 様	新庄中	内山多美子 様	城山中	武田 義輝 様
水橋中部小	松下 彰浩 様	新庄中	坂本 幸男 様		

## 団 体 表 彰

富山市立大久保小学校育成会 様      富山市立上滝中学校育友会 様      富山市立神通碧小学校 P T A 様

## 平成29年度 市P連表彰者(感謝状)名簿

所属 PTA	氏 名	所属 PTA	氏 名	所属 PTA	氏 名
芝園小	千田美樹子 様	蜷川小	谷川 貴芳 様	呉羽中	岡田まゆみ 様
芝園小	バイマン由岐子 様	月岡小	笠松 隆雄 様	呉羽中	酒井 陽子 様
芝園小	町村 英俊 様	四方小	鈴木 基弘 様	呉羽中	土山 幸美 様
西田地方小	柴田 仁 様	水橋中部小	鎌口あかね 様	呉羽中	中島 俊彦 様
西田地方小	西山 良太 様	水橋中部小	北山 明美 様	呉羽中	西村 衡 様
西田地方小	八子 猛 様	水橋中部小	京塚 美枝 様	和合中	小島 幹夫 様
中央小	黒崎のぞみ 様	水橋中部小	谷井 章寛 様	藤ノ木中	小島 鉢蠟 様
中央小	黒部雄一郎 様	八尾小	玉生 貴嗣 様	藤ノ木中	安原 好一 様
中央小	小池 一光 様	檜尾小	大島 収 様	大沢野中	清水 孝朗 様
五福小	木村真智子 様	速星小	浅地 潤 様	大沢野中	森腰 昭子 様
奥田北小	上野 悟志 様	古里小	増井 大樹 様	速星中	荒木しのぶ 様
新庄小	石黒真紀子 様	神保小	加藤 友紀 様	速星中	小野 寿恵 様
新庄小	戸田 英昭 様	東部中	加賀谷美香 様	速星中	清水香代子 様
岩瀬小	高岡 貴子 様	東部中	寺井 佳子 様	速星中	松田 則昭 様
岩瀬小	温井真奈美 様	南部中	砺波 直樹 様	速星中	若宮 正嗣 様
岩瀬小	灰庭 武邦 様	北部中	西島亜希乃 様	城山中	城川 知子 様
大広田小	川東 勝英 様	山室中	長谷川拓也 様	城山中	松浦 光洋 様
広田部小	平尾 秀樹 様	山室中	堀江 直美 様	城山中	吉野 優 様
堀川小	松山 朋朗 様	山室中	渡辺 里香 様	榆原中	松井 弘行 様
光陽小	京谷 公友 様	奥田中	安藤 啓司 様		
光陽小	中野さゆり 様	奥田中	山口 之誉 様		

## 2/24 PTA会長研修会開催!

### 第1分科会

PTAの在り方・PTA会長としての心構え



### 第2分科会

お子様にスマホを持たせる前に  
PTA/保護者ができることは?



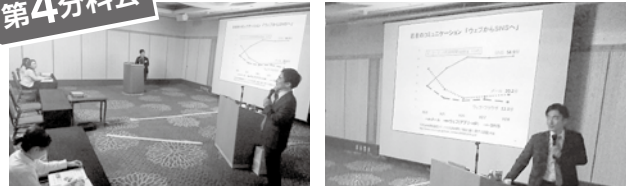
### 第3分科会

PTA会長としての挨拶のポイント



### 第4分科会

LINEと子供たち



### 第5分科会

子育てにおけるアンガーマネジメント





# 子供の变化に気付いてあげよう

特集  
パート2

熱中症について 熱中症は、一般的に炎天下の屋外のみならず、屋内でも発生します。

## 熱中症Ⅲ度とは？

熱中症（Ⅲ度）の症状は、重度な症状で、意識障害・けいれん・過呼吸・手足の運動障害などがⅡ度の症状に重なりあつて起きる症状で、高体温（四十度）以上の高熱になり脱水による血液凝固に伴う多臓器不全（肺・肝臓・腎臓などの障害）を発症するリスクがあります。

熱中症の主な原因としては、脱水（塩分やミネラルなどの電解質不足）によるものです。

熱中症を防ぐチェックポイントとしては、顔が赤く、ひどく汗をかいている場合には体温がかなり上昇していると推測できるので、涼しい環境下で十分な休憩を与え、喉の渇きにに応じて適度な水分を取りましょう。また、氷などがあれば、「首筋」「脇下」「そけい部（大腿部付け根）」などに氷を当てましょう。

もしも、素早く手当てができないう場合は、速やかに医療機関での受診を行ってください。

また、熱中症になって救急車を呼ぶ場合、消防署に直接電話をかけるよりも、一一九番通報した方が発信情報システムにより場所が瞬時に特定できるため、より早く確実に現場に到着できます。消防署に直接電話した場合、署員が住宅地図で場所を特定してから出勤となるため、現場到着まで時間を要しますのでみなさん、ご協力をお願いします。

# 2020年8月28日(金)29日(土) 富山の地にて 第68回PTA全国研究大会 富山大会

開催!

みんなまだ先だけど、参加まっっちゃ〜

第七十四回日本PTA  
東海北陸ブロック研究大会  
愛知大会

〔分科会あり〕

愛知県三河六市で開催された分科会では、PTAの「愛」と「知」を結集して実践された様々な活動事例について発表されました。

全体会の記念講演では、「ペップトーク」を通して言葉の持つ力と重要性について学びました。

〔全体会〕

ドラマ「先に生まれただけの僕」の劇中でも話題になった「ペップトーク」の第一人者、岩崎由純氏より「承認して目標達成をイメージできる肯定的な言葉を掛けることで子供は変わる!」と言葉の持つ力と重要性について学びました。



富山県PTA会員大会



会員大会は、県PTA連合会の創立七十周年記念式典も同時に開催され、丸二日の事業となりました。オープニングアトラクションから始まった開会式では、石井県知事をはじめ来賓の皆様からご祝辞をいただきました。記念フォーラムでは、パネルディスカッションを行い、研究指定PTAの発表では、氷見市立速川小学校校育友会と入善町立入善西部中学校PTAが発表を行いました。基調講演では、橘こころ氏を講師にお迎えして、「自分の失敗談をお話します」とのお言葉で始まった講演は、「子供に親の夢の押し売りをしてはいけない」など、心に強く残る言葉が随所にありました。二〇二〇年に富山県で開催されるPTA全国大会シンボルマーク(案)も発表され、いよいよ来年に迫った全国大会に向けて、私たち保護者もがんばって行きましょう。

平成30年度

広報委員会

- 委員長 林 洋一 (芝園小)
- 副委員長 笹島 裕之 (大久保小)
- 副委員長 関澤 亮 (倉垣小)
- 副委員長 浅名 稔 (山田小)
- 副委員長 森 登志克 (水橋小)
- 参 与 上杉 浩二 (富山市P)
- アドバイザー 吉川 満博 (南部中)
- 副会長 高柳恵理子 (南部中)
- 副会長 宮村 勇太 (熊野小)
- 副会長 松本 規人 (堀川小)
- 松井 輝 (柳町小)
- 西澤 佳恵 (神明小)
- 麦谷 忠信 (大広田小)
- 三門市 明 (新庄小)
- 佐伯 真未 (豊田小)
- 橋場 真紀 (山室小)
- 柳瀬 文雄 (呉羽中)
- 河上 和美 (寒江小)
- 石田 智子 (水橋東部小)
- 平野 孝一 (水橋中部小)
- 井城 将志 (四方小)
- 前田 麻衣 (天沢野小)
- 鈴木佳世子 (八尾小)
- 中村 広子 (速星中)
- 五十嵐知之 (音川小)
- 橋場みゆき (月岡小)
- 黒川 健志 (福沢小)